

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学学長選考会議（第42回）議事要録

日 時 平成29年9月21日（木） 13:30～14:50
場 所 本部棟2階 中会議室
出 席 者 平澤議長
相澤委員，加藤委員，久和委員，寺野委員，松澤委員，黒田委員，永井委員，
川西委員，神田委員，東条委員，塚原委員
陪 席 者 西関監事

議事に先立ち，第41回（平成29年6月22日開催）の議事要録（案）を確認した。

議 事

議長から，次期学長の選考方法について説明があり，意見交換を行った。

1. 次期学長の選考方法について

（1）選考方法全体

次期学長の選考方法について，前回の学長選考を参考にしながら，同様のプロセスで良いかどうか引き続き検討を進める必要がある。過去2回実施した方式を雛形とし，今回の目的に適合的であるか，漸次検討を深める。次期学長選考の推薦公示の詳細は，平成31年度の6月頃までに決定することが望ましい。

（2）学長像

「学長選考の基本方針と期待される資質・能力」では，次期学長像として，現学長が着手した教育研究改革の方針を継承し実質化する使命を担っていることになっている。なお，この方針は公示の前に状況の推移等を確認し，見直すことがある。

（3）意向調査の方式

大学の規模が小さいことから，候補者が多くなった場合，意向調査の得票が分散することが懸念される。過去の方式では最大6名まで意向調査候補者を許容することになっている。候補者数が多くならない方式を工夫してはどうか。

（4）所信表明の内容と方式

所信表明の様式は決められているが，内容が尽くされているかどうかのチェックは選考会議でなされてこなかった。また，前回のプレゼンは，選考会議と学内意向表明予定者とが一体となって実施した。選考会議が独自にヒアリングを行う場があっても良いのではないかな。

2. 議事録の公表について

学長選考会議の議論を可能な範囲でホームページに掲載し，学内で情報共有することが望ましい。決定事項のほか，決定に至る前の事項に関しては，検討の経緯を順次公開し，検討状況について学内での共有化を図る。

以上